Japan Geoscience Union Meeting 2012
(May 20-25 2012 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2012. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

U06-10 会場:国際会議室 時間:5 月 22 日 13:45-14:00

地震学と地震津波防災
Seismology vs earthquake and tsunami disaster mitigation

西村 裕一[1*], 泉谷 恭男[2], 武村 雅之[3]
NISHIMURA, Yuichi[1*], IZUTANI, Yasuo[2], TAKEMURA, Masayuki[3]

[1] 北海道大学大学院理学研究院, [2] 信州大学工学部土木工学科, [3]（株）小堀鐸二研究所
[1]Graduate School of Science, Hokkaido University, [2]Department of Civil Engineering, Faculty of Engineering, Shinshu University, [3]Kobori Research Complex INC.

地震や津波は災害要因である．災害要因を研究対象とする地震学は，よって，純粋な理学ではない．我々は好む好まないに関らず，防災ということを通して社会と密接に関係している．我々は，地震や津波のデータを使って物理モデルを構築することを最終的な目標とするのではなく，研究成果が本当に防災に役立っているのか，単に予算確保のために防災という看板を掲げているだけではないか，などについて常に内省する必要があるだろう．巨大災害を防ぐことを第一とするなら，多くの仮定に基づく地震の発生確率を公表するよりも，その地域で発生しうる最大規模の震動や津波の調査研究にもっと努力が向けられるべきではなかったか．さらに，より直接的に社会に貢献するためには，理学としての地震学を進めるだけでなく，地震工学や歴史学の考え方や手法を吸収することも大切だったのではないだろうか．ここでは，2011 年 11 月に地震学会特別セッションとして行われた地震学と防災に関する議論とアンケート結果，さらに地震学会員からの意見論文の内容を紹介しながら，地震学の知見と防災との関係についてあらためて検討したい．

キーワード: 地震, 津波, 防災, 地震学, 社会
Keywords: earthquake, tsunami, disaster mitigation, seismology, society